

ひらいて、 つつんで、

映画上映会

1万5千冊をデザインした装幀者・菊地信義と、
本をつくる人々のドキュメンタリー



©2019「つつんで、ひらいて」製作委員会

**「読者が思わず手に取る
美しい本」が生まれる、
その舞台裏へ。**

菊地信義。空前のベストセラーとなった俵万智『サラダ記念日』をはじめ大江健三郎、古井由吉、浅田次郎、平野啓一郎、金原ひとみら1万5千冊以上もの本を手掛け、40年以上にわたり日本のブックデザイン界をリードしてきた稀代の装幀家です。本作は、美しく刺激的な本づくりで多くの読者を魅了し、作家たちに愛されてきた菊地の仕事を通して“本をつくること”を見つめた、おそらく世界初のブックデザイン・ドキュメンタリー。手作業で一冊ずつデザインする指先から、本の印刷、製本に至る工程までを丁寧に綴り、ものづくりの原点を探ります。

監督・編集・撮影：広瀬奈々子
出演：菊地信義、水戸部功、古井由吉、ほか
音楽：bielopata
エンディング曲：鈴木常吉
製作：バンダイナムコアーツ、AOI Pro、マジックアワー、エネット、分福
企画・制作：分福
配給・宣伝：マジックアワー
2020年/日本/カラー/HD/16:9
ステレオ/94分
www.magdoor.co.jp / isitsunde

2021年

2/27

13:30 ~ 15:00・映画上映会「つつんで、ひらいて」

15:10 ~ 15:50・トーク 岩波書店編集者・鈴木康之氏×浅見 洋館長

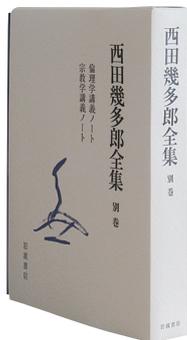
会場・石川県西田幾多郎記念哲学館 哲学ホール 参加費・無料(要申込)

※Eメール(FAX、電話等)で名前・住所・電話番号をお知らせください。

トーク 岩波書店編集者・鈴木康之氏×浅見 洋館長

哲学館では昨年『西田幾多郎全集 別巻』を編集し刊行しました。『全集別巻』が刊行されるまでには、西田幾多郎直筆のノートを翻刻して活字化し、精度を上げるために何度も校正作業を行いました。編者となった哲学館スタッフだけでなく、一次翻刻をした金沢大学・京都大学の翻刻チーム、二次翻刻をした研究者、出版社の編集部・校正部・製作部・営業部など、多くの人たちが関わっ

て、ようやく一冊の本が出来上がっています。紙の本が作られるまでには、内容はもちろん、字体や大きさや色、紙の性質や色なども検討を重ねます。表紙のクロス張りの質や色、函のデザインや帯のレイアウトなど、出版社側が行う作業も様々です。今回『全集別巻』を刊行した岩波書店の担当編集者をお招きし、浅見館長とのトーク形式で全集別巻刊行の裏話、苦労話をお話いただきます。



開催中
3/21(日)まで

企画展

「本になる—西田幾多郎の執筆・校正・編集—」

- 開館時間 / 9:00 ~ 17:00 (入館は16:30まで)
- 休館日 / 月曜日(祝日の場合は翌平日)、年末年始(12月29日~1月3日)、メンテナンス期間
- 観覧料 / 一般300円(団体250円・20名以上) / 高齢者(65歳以上)200円 / 高校生以下無料

石川県
西田幾多郎記念哲学館
Ishikawa NISHIDA KITARO Museum of Philosophy

〒929-1126 石川県かほく市内日角井1
TEL(076)283-6600 FAX(076)283-6320
URL <http://www.nishidatetsugakukan.org/>
E-mail nishida-museum@city.kahoku.lg.jp

■facebook でイベント関連情報を随時更新しています。



交通アクセス

【車利用】北陸自動車道 [金沢東IC]—国道159号線(約20分)
のと里山海道 [白尾IC]—(約5分)

【JR利用】金沢駅—IRいしかわ鉄道線・七尾線(約25分)—宇野駅—
徒歩(約20分)—哲学館

